

富士山の火山活動解説資料（平成 22 年 11 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

萩原（富士山山頂の東南東 18km）に設置してある遠望カメラでは、山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 1）

山体直下を震源とする高周波地震の発生は 2008 年後半頃から若干増えています。深さ 15km 付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況でした。

火山性微動は観測されませんでした。

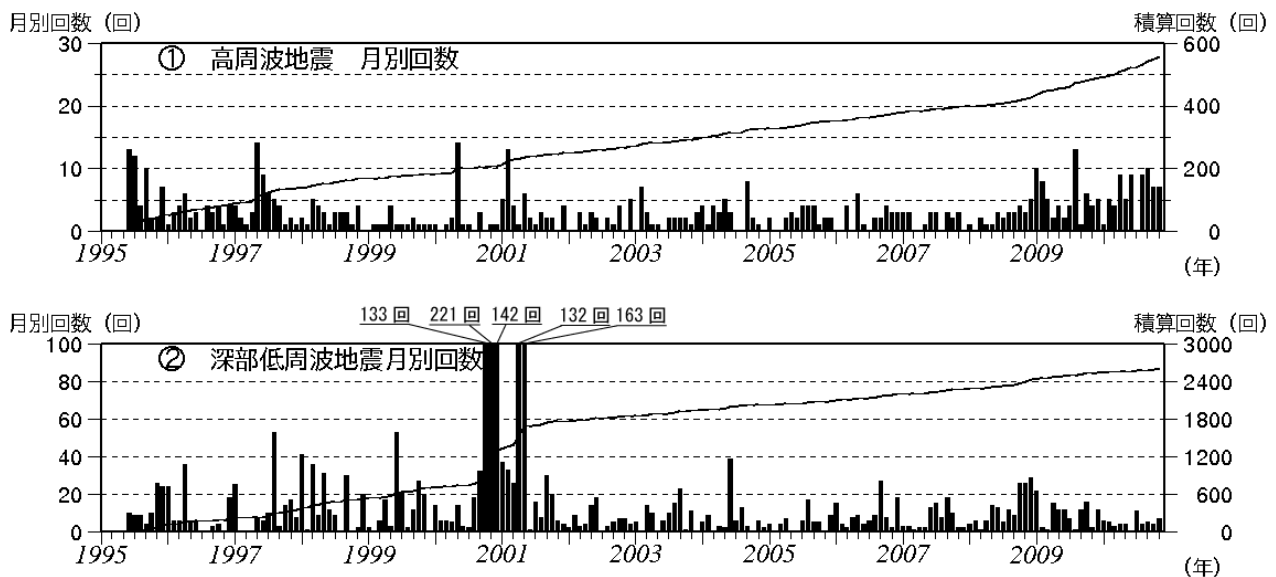


図 1 富士山 月別地震回数(1995年6月～2010年11月)



図 2 富士山 山頂部の状況
(11月25日 萩原遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 12 月分）は平成 23 年 1 月 7 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

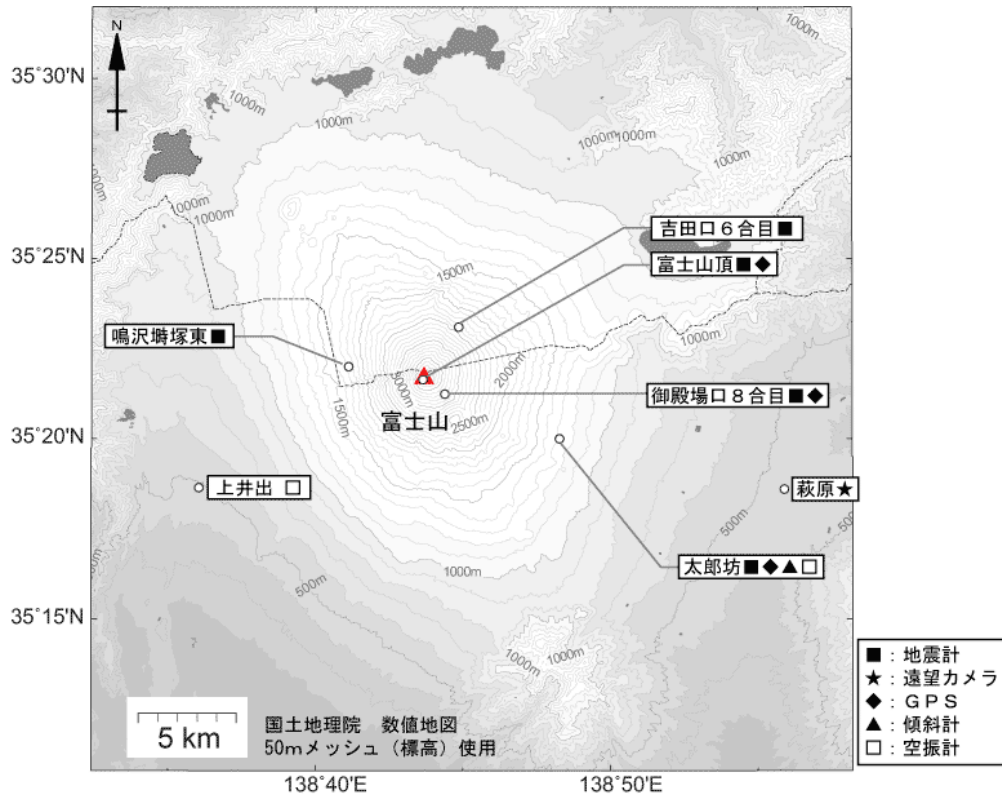


図 3 富士山 気象庁の観測点配置図 (小さな白丸は観測点位置を示しています) 運用開始前の観測点も含みます。